

平成26年度予算は、「変わらないのが異常、変わるのが常」を念頭に、事業の目的や効果を見極め、市民との情報の共有・連帯・協働により元気な中野市の実現に向けた予算編成としました。

① 市民一人ひとりに開かれた市民参加と協働のまちづくり



② 思いやりと地域の連帯で支える健康福祉のまちづくり



③ 子どもの元気をふるさと未来につなげるまちづくり



④ 地球環境との共生と豊かな心の人間社会づくり



⑦ 安全・快適で機能的な都市基盤づくり



⑥ 地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり



⑤ 産業が連携し、新しい価値を生み出すまちづくり



緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち

一般会計
予算額

200億4,000万円

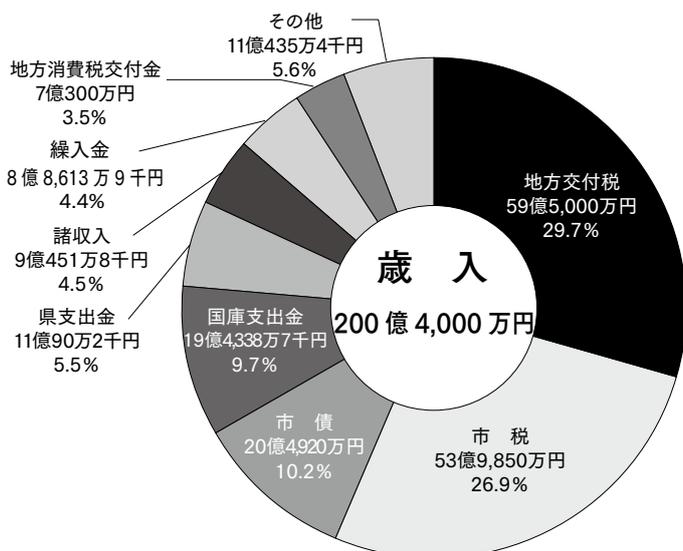
前年度比 8億4,000万円の増(104.4%)

一般会計の予算規模は、総額200億4千万円で、平成25年度当初予算比較では、金額にして8億4千万円、率にして4.4%の増となり、平成17年の新市発足以来、初めて200億円を超える予算となりました。

新年度予算は、市民の安心した生活を支える予算として、中野市の魅力を再発見し、その情報を県内外へ発信するなど、市民生活の充実を図る予算としました。

本市における財政状況は、厳しい状況に変わりありませんが、市民サービスの充実と地域経済を下支えする財源の配分に心掛け、的確に事業を選択し、引き続き最小の経費で最大の効果を上げる地方自治の理念に基づき、効果的かつ効率的な財政の健全化に努めてまいります。

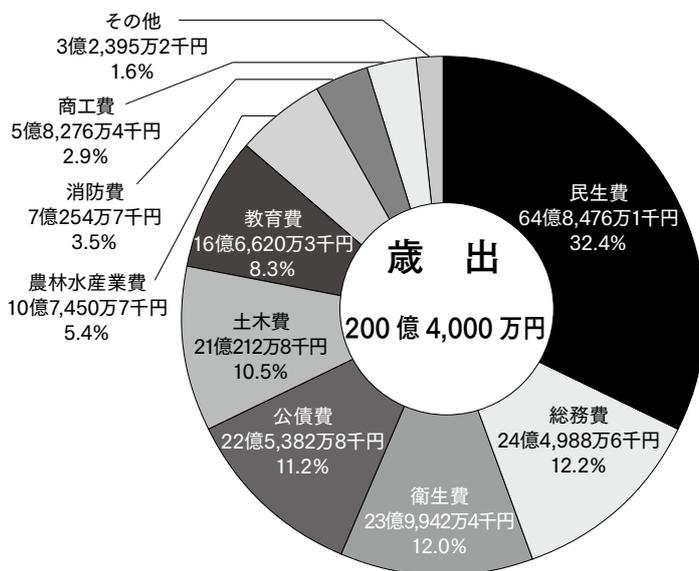
歳入の主な特徴



- ◇市税収入は、ほぼ前年並みを見込んでいます。
- ◇地方消費税交付金については、地方消費税の引き上げにより、前年度比2億6千万円の増額を見込んでいます。
- ◇地方交付税については、国の地方財政計画や実績から、前年度比5千万円の減額を、臨時財政対策費については2億円の減額を見込んでいます。

歳出の主な特徴

- ◇民生費は、消費税増税に伴う臨時給付金給付事業および（仮称）新西町保育園建設工事に伴う保育所維持整備事業などにより、前年度比で約8億9千万円の増額となります。
- ◇衛生費は、新斎場建設に伴う北信保健衛生施設組合負担金の増加がありますが、北信総合病院新西病棟の完成などにより再構築事業の負担金が減少し前年度比で約2億2千万円の減額となります。
- ◇農林水産業費は、共選所の選果機整備など園芸産地育成事業の増加により、前年度比で約2億2千万円の増額となります。



会計別予算額

一般会計は、市が行う事業の大部分を占め、市民の皆さんから納付していただく市税や、国、県からの交付金などが主な財源となります。

これに対して特別会計は、特定の事業を行うための予算で、主に保険料や使用料などの収入で賄われています。

また、企業会計は、事業で得る収入によって支出を賄う独立採算型の会計となります。

会計名		予算額	前年比
一般会計		200億4,000万円	4.4%
特別会計	国民健康保険事業	52億5,310万円	0.3%
	後期高齢者医療事業	4億3,555万円	10.5%
	介護保険事業	39億8,748万円	2.8%
	倭財産区事業	73万円	△30.5%
	永田財産区事業	39万円	△25.3%
	中野財産区事業	210万円	△8.6%
	下水道事業	18億3,034万円	△1.1%
	農業集落排水事業	7億1,493万円	0.0%
計	122億2,462万円	1.2%	
企業会計	水道事業	17億6,318万円	13.3%